

全日本空輸株式会社



エコ・ファースト認定企業である ANA では「人と地球を考える」をテーマに「森づくり」「沖縄のサンゴ再生」「国際環境絵本コンクール」を 3 本柱とし、『私の青空』と称した「地球環境を大切に作る心の輪」を拡げる活動に 2004 年から取り組んできました。「森づくり」では「木を植え、森を育てる」活動を通じて、地球環境の改善に少しでも役立ちたいという願いのもと、各自治体や地元森林組合のご協力・アドバイスを御得て、地域社会との接点を大切にしながら社員ボランティアと共に取り組んで参りました。



「森づくり」は国内 50 空港を対象として 2004 年から 10 ヶ年計画で行うことを目標とし、全国の空港近隣の地で森づくりを推進、鳥取県では 2008 年 3 月より「鳥取空港・白兔の森」「米子空港・ハマヒルガオの森」として活動をスタートしました。

活動開始に際し、鳥取県、鳥取市、境港市と ANA は「森林保全・管理協定」を調印しました。第一回目の活動は 2008 年 3 月の「鳥取空港・白兔の森」、因幡の白兔の伝説で有名な白兔海岸の近く、鳥取市伏野の砂浜で地元の皆様のご協力により約 100 名のボランティアとマツクイムシに強いクロマツの苗木 500 本を植樹し、海岸の美しい松林の再生を目指しました。第二回目は 2008 年 11 月の「米子空港・ハマヒルガオの森」として米子空港からほど近い境港市佐斐神町においても 150 名のボランティアのご参加によりクロマツの苗木 500 本を植樹しました。双方の森づくりでは、社員への環境教育の場と位置付け、鳥取大学農学部で国際環境科学を研究されている山本福壽教授をお迎えし、海岸の防砂林が与える影響とその重要性についてお話を聴かせていただく「青空塾」も開講しました。

森づくりにおける鳥取県と ANA との出会いは、2007 年 5 月に東京都千代田区平河町の都道府県会館で ANA が各自治体向けに開催した「私の青空 森づくり」のプレゼンテーションに鳥取県からご出席をいただいたことがきっかけでした。その後、鳥取県での活動はとてスムーズに話が進み、鳥取県のご担当者様には用地の確保、植樹する苗木の選定、苗木・道具等の手配、現地での広報 PR や調整等の様々な場面で多大なるご尽力をいただき今でも感謝の念に尽きません。「白兔の森」では植樹活動を 2 回、「ハマヒルガオの森」においても 2 回実施しましたが、いずれも大勢の地元ボランティアの皆様にご参加いただくことにより、とても迅速にそして和やかな楽しい雰囲気の中で行うことができました。

2004 年から全国の空港の森を多数手掛けてきた中でも、「鳥取空港・白兔の森」と「米子空港・ハマヒルガオの森」は鳥取空港と米子空港からほど近く、それぞれの森から ANA の飛行機の離発着を眺められるという、これ以上ないベストロケーションで植樹活動ができました。これはひとえに鳥取県の皆様のご協力の賜物です。この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当に有難うございました。

鳥取県での活動は終了しておりますが、現在でも ANA の飛行機の窓から「鳥取空港・白兔の森」「米子空港・ハマヒルガオの森」ですくすくとクロマツが育っているのを眺めることができ、ANA の活動後も地元の皆様には継続的に心のこもった森の保全を行っていただいております。「とっとり共生の森」の植樹、育林活動の取り組みが今後も円滑に行われ、県の発展の礎となりますことを願ってやみません。



ANA 機を背にして (鳥取市伏野 H21.3.29)



活動 2 回目 (鳥取市伏野 H21.3.29)



苗木植樹の様子 (鳥取市伏野 H21.3.29)



アジアナ航空との協働活動 (境港市弓ヶ浜 H22.3.27)

《「とっとり共生の森」森林保全・管理協定の概要》

- 1 調印日 平成 20 年 1 月 24 日 (全日本空輸(株)、鳥取市、境港市、鳥取県)
- 2 協定森林 鳥取市伏野 1.0ha
境港市佐斐神町 1.4ha
- 3 協定内容 職員及びその家族、地元ボランティアを中心に、植林、育林(下刈り)などの森林保全活動を行う。
- 4 協定期間 5 年間 (平成 20 年 1 月 24 日～平成 25 年 1 月 23 日)
- 5 活動実績
 - 鳥取市
 - H20. 3. 23 抵抗性クロマツ植栽(500 本)他 参加者 208 名
 - H21. 3. 29 抵抗性クロマツ植栽(950 本) 参加者 150 名
 - 境港市
 - H20. 11. 9 抵抗性クロマツ植栽(750 本) 参加者 200 名
 - H22. 3. 27 抵抗性クロマツ植栽(750 本) 参加者 200 名